

# おおまち 市議会だより

No.144

平成24年1月15日

発行／大町市議会  
編集／議会だより編集委員会  
〒398-8601  
長野県大町市大町3887番地  
TEL. 0261-22-1139  
市議会ホームページ  
<http://www.city.omachi.nagano.jp/ctg/C17/17.html>



写真＝社公民館「第23回元旦マラソン」

年頭にあたって

大町市議会議長

大厩 富義

明けましておめでとございます。

市民の皆様には、新春をお健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

昨年、3月に発生しました東日本大震災、さらには原子力発電所の事故など、これまで経験したことのない大災害に見舞われました。改めて関係する皆様にお見舞い申し上げます。同時に、一刻も早い復旧と復興を願うものです。

市議会は、このような未曾有の災害を教訓に、市民の生命や財産を守るため、防災対策特別委員会を設置し、議会にできる防災対策について調査・検討しております。また、一昨年制定しました議会基本条例により、市民の皆さんとの意見交換会を積極的に開催するなど、信頼される議会を目指して、議会活動を活性化していく所存でございます。今後ともご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、平成24年が市民の皆様にとりまして幸多き年となりますことをお祈り申し上げます。

## おもな内容

12月定例会あらまし	2	・請願・陳情審査結果	11
・一般質問 代表質問	3	行政視察報告	12
個人質問	7	議会傍聴	13
・委員会審査報告	10	意見交換会報告	14・15
・審議結果	11	焦点・編集後記	16

# 一般会計補正予算 可決

## 1,600万円追加

# 市議会 12月定例会

平成23年12月定例会は、11月29日から12月16日までの18日間の会期で行われました。事件案件では、3施設の指定管理者の指定や第3次大町市国土利用計画の策定、予算案件では平成23年度大町市一般会計補正予算約1,600万円の追加など、計16議案について審議され、いずれも全会一致で原案を可決しました。

### 住宅リフォーム制度、増額決定

追加予算の主なものは、障害者自立支援給付事業4,077万円、りんごセンター公衆トイレ改修工事520万円、住宅リフォーム促進事業補助金300万円、アスベスト飛散防止対策事業800万円、重要文化財旧中村家住宅保存修理事業1,000万円などが提案されました。住宅リフォーム促進事業は予想以上の好評を得て、累計で2,300万円の予算となります。追加、減額を差し引き、約1,600万円の追加予算の提案に対し、全会一致で可決されました。

### 第3次国土利用計画策定

第2次大町市国土利用計画の計画期間が平成22年までとなっているため、八坂及び美麻地区を包括し、平成32年までを計画期間とした第3次大町市国土利用計画を策定するものです。国土利用計画（長野県計画）を基本とし、大町市第4次総合計画の基本構想に定められた将来像の実現を土地利用の面からも目指すもので、全会一致で可決されました。

### 3施設の指定管理者決定

大町市大町温泉郷森林劇場は大町温泉郷観光協会に、大町市勤労青少年ホームは大町市体育協会が引き続き指定管理者に、大町市美麻総合福祉センターには、大町市社会福祉協議会が初めて指定管理者になることを求める議案が提案されました。指定の期間については、大町温泉郷森林劇場は、土地と建物の所有の関係

を整理するために3年、大町市勤労青少年ホームは、国に対して補助金対象施設の用途変更を行う方向で進めていることから3年、大町市美麻総合福祉センターは、市内3カ所の総合福祉センター間の連携を強化するために、大町・八坂の指定期間の終期に合わせ2年との提案でした。いずれも原案どおり可決されました。

### 議会を生中継しています

市議会本会議の様態を、大町市ケーブルテレビと大町市ホームページで生放送しています。またケーブルテレビでは、12月定例会一般質問から再放送を始めました。ホームページでは録画をご覧ください。

# 一般質問

## ここが聞きたい ただしたい

本会議の中で、議員が市政全般について、自由に質問できる制度があります。12月定例会では、会派による代表5名が「代表質問」、個人6名の議員が「個人質問」を行いました。以下はその要旨です。

(この欄は、質問議員の原稿どおり掲載しています)



### 代表質問



第4次総合計画

後期の取り組みは

政友クラブ代表 荒澤 靖

**質問** 第4次総合計画はどのように取り組むのか。

**答弁** 社会情勢の変化を踏まえ、緊急かつ優先的課題への対応を念頭に「定住化促進」「雇用の確保と産業おこし」「安心して安全に暮らせるまち」の3つを重点プロジェクトと位置付け、総力を挙げて推進したい。

**質問** 人口問題、若者の定住化策が最大の課題と考えられるが、目玉事業とその狙いは。

**答弁** 「定住化促進」では専任職員を配置。「雇用の場の確保と産業おこし」では各産業の連携による新産業の創出や特産品の開発、ブランドの取り組みにより活力あるまちづくりを進める。「安心・安全なまち」では防災対策、大町病院の再生、教育環境の整備等を推進する。5年間の数値目標を設定し市民に分かり易い内容としたい。

**質問** 人口減少化の要因の分析、人口3万人構想の取り組みと戦略は。

**答弁** 昨年の状況は出生・死亡による自然動態が216人の減少、転出・転入による社会動態が206人の減少

でありこの傾向が続いている。少子高齢化・就学・就職による流出、企業・事業所の閉鎖や転出に伴う要因と推測している。目標人口3万人を達成するため3つの「重点プロジェクト」を重点的・戦略的に展開したい。

**質問** 新年度予算編成について

**答弁** 自主財源である市税についてどのように見込んでいるか。

**答弁** 個人市民税は扶養控除の廃止に伴い約6千7百万円の増額、法人市民税は8千5百万円の減額、固定資産税は評価替え・償却資産等で1億3千



老朽化激しい現ごみ焼却場

7百万円の減額等、全体で1億8千7百万円の減額となる見込みである。

**質問** 国の動向が不透明な中、編成も大変と思うが市民へのメッセージは。

**答弁** 重点プロジェクトとして掲げる3点を中長期的に取り組むことで市が進むべき方向を明確にし、市民と理念を共有しつつ着実に推進したい。

**ごみ処理広域化について**

**質問** 三日町候補地断念の理由は。

**答弁** 高い公平性や透明性を確保して進めてきたが自治会による住民投票で反対が表明された。反対理由は立地

ができない理由とは考えにくいものにはあるが、現施設の老朽化等早急な推進が必要な事や、アンケートの回答にこれ以上自治会を混乱させないでほしいとの意見が多く寄せられ断念した。

**質問** 今後の選定を早めないといけないがどのようにしていくのか。人口の多い大町市内の建設が望ましいが。

**答弁** 広域連合と共に公共事業の優先順位や地域課題を十分考慮するなど選定を鋭意進める。大町市がイニシアチブをとるとの声が多い事も承知している。

### きらり輝くおおまちの

### 具体像は

民声クラブ代表

岡

秀子

**平成24年度予算編成について**

**質問** 後期基本計画のスタート年度となる平成24年度予算編成の特徴は。

**答弁** 限られた財源を緊急性や優先度を厳格に判断し、厳しい中にも輝きのある事業選択を行う。△定住促進△働く場の確保と産業おこし △安心して安全に暮らす3つの重点プロジェクトの事業を中心に予算編成を進める。

**質問** 市長就任以来、公債費が顕著に減少し、財政改善の兆しが見えてきている。後期基本計画5カ年間の財政運営の見通しについては。

**答弁** 平成18年度末から4年間で地方債残高が約46億円の減少となり、実

22億円台で推移すると見込んでいます。堅実な財政運営となる一方、社会保障費が年々増加の一途であるので、今後も事業の厳選及び財源確保に引き続き努めていく。

**第4次総合計画後期基本計画について**

**質問** 計画の中の高度情報化への具体的な取り組みについては。市内向けのケーブルテレビ等の内容充実、及び対外的に情報発信等への考えは。

**答弁** 市民向けには、インターネットを利用した電子行政相談システムの構築、緊急情報や情報集約配信システムの活用を推進する。今後、双方向

**大町総合病院再生について**

**質問** 改革プランの進捗と経営戦略を聞きたい。

**答弁** 病院は多くのマンパワーを必要とする「労働集約産業」であり人事戦略である。病院スタッフの計画的な確保を支援していきたい。民間企業の経営分析手法などの活用も提案していく。

**質問** 基幹病院としての広域的な役割は。医師確保の有効な手段は。

**答弁** 急性医療を行うには現在の救急対応能力には限界がある。松本医療圏と病病連携を強化し、安曇病院との

機能分担を図りながら役目を果たしていきたい。医師確保については、子育て世代の医師を確保するため子ども教育環境・子育て環境・住環境など十分提携できるよう、各分野との連携を深めていく。

**医療費無料化の拡大について**

**質問** 現在小学校6年生までの制度を中学生まで拡大する考えはないか。

**答弁** 次回の審議会で答申をいただく予定だ。中学3年生まで拡大すると年間6百万円が必要。審議会の意見を尊重し、新年度予算編成で検討する。

質公債費比率18%も本年度の決算見込みでは、18%を下回る見通しである。公債費は、償還ピーク時より約6億円程度減少し、

機能を利用した高齢者の見守りシステム等検討していく。対外的には、HPの外国語表記の充実と防災の情報収集とも連携したライブカメラの設置によるリアルタイムの画像配信等検討を進め、大町市の魅力を積極的に情報発信することに努めていく。

**質問** 計画5年後のきらり輝くおおまちの具体像のイメージについては。

**答弁** スポーツ活動や文化豊かで健康的に暮らせるまち。市民一人一人が生き生きとして健康的に暮らし、心身ともに豊かに過ごせるまちである。

**教育について**

**質問** 本年9月下旬から10月上旬に全国学力テストが実施された。個々の子どもの学力やつまづき等を把握して授業の改善に活かしていただきたい。当市の学力向上への取り組みは。

**答弁** 市内全小中学校では県教委の



大町っ子の学力向上は

「PDCAサイクルづくり支援事業」に参加し、さらに全国学力テストにも参加して、学習を総点検し、補習や習熟度別指導を導入するなど、各校で創意工夫を凝らした取り組みを進めている。



災害時のサイレン放送の周知徹底

る。今回の全国学力テストでも幾つかの課題はある。今後も詳しく分析を進め、PDCAサイクルと合わせて検討を深め、実態に即した指導と改善に取

り組む方針としている。他に、市立大町総合病院の経営方針、市民の健康、特定健診の受診率向上等について質問した。



**直線距離 130 km**  
**刈羽原発への市の対応は**  
市民クラブ代表 神社 正幸

**質問** 新潟県柏崎刈羽原発は大町から130 kmあり、事故が起きたら対岸の火事ではない。市の認識、監視、対策対応は。

**回答** 刈羽原発は世界最大の原子力発電所であり、万が一に備え、市の防災計画に盛り込み、県の関係機関との連携を図り万全を期す。

**質問** ダムの事故、地滑りなどの災害発生の際、緊急避難を知らしめる警報や放送など、市の対応は十分か。

示を放送する。防災訓練などにより市民への周知の徹底に努める。

**質問** 観光客を増加に転じるには、毎年バラバラな施策の積み上げでなく観光戦略の根本「観光ブランドの構築」が必要ではないか。美麻・八坂地区を含めた里山観光戦略などの新たな企画はあるのか。

**回答** 立山黒部アルペンルートと、北アルプス、清らかな水である。また里山の観光資源を活用した誘客を企画展開していく。

**質問** 県外、海外で活躍している大町市出身者に、観光の応援をしていただく観光大使立ち上げ構想はあるか。

**回答** 観光大使制度の検討を進め、要請活動を展開していきたい。

**質問** 大町市の観光看板はデザインの統一性、環境調和性、グローバル化に対応できる内容であるか。

**回答** 3年計画で広域連合のガイドラインに沿って、外国人にも分かりやすい看板にしたい。

**質問** 大半の観光客がホームページを見る。ホームページ整備充実対策は。

**回答** 昨年更新を図ったが、動画や画像などを入れ、情報更新して見やすいホームページに努める。

**質問** 観光客誘致戦略委員会の立ち上げが必要ではないか。

**回答** 市民の皆様の意見を取り入れることを第一に考え、慎重に検討したい。

**質問** 市街地・美麻・八坂地区にある廃屋について、市は現状を把握し、対策を講じているか。

**回答** 市街地・美麻・八坂地区にある廃屋について、市は現状を把握し、対策を講じているか。

**質問** 市街地・美麻・八坂地区にある廃屋について、市は現状を把握し、対策を講じているか。

**回答** 市街地・美麻・八坂地区にある廃屋について、市は現状を把握し、対策を講じているか。

**質問** 市街地・美麻・八坂地区にある廃屋について、市は現状を把握し、対策を講じているか。



**実りある人口対策を!**  
虹と緑の会代表 八木 聡

**質問** 大町市の人口減少率は、県内19市で最も高く、平成22年度国勢調査確定値で5年前から7.3%の2,344人減り、29,801人。すでに人口は3万人を切っている。その要因は。

**回答** 毎月の人口異動調査からみる、22年中の自然動態の、自然減数は216人の減少。社会動態は206人の減少。社会動態の要因分析を進めるため、転入・転出者に対するアンケートを実施し、要因を更に分析し、効果的な定

**質問** 毎月の人口異動調査からみる、22年中の自然動態の、自然減数は216人の減少。社会動態は206人の減少。社会動態の要因分析を進めるため、転入・転出者に対するアンケートを実施し、要因を更に分析し、効果的な定

**回答** 生活環境への影響、火災の危険など懸念される。空家の活用も含め所有者などの管理を要請し、自治会の協力をいただき、粘り強く進めていく。

**質問** 工場誘致の見通し、進捗状況、及びそれらの予算付けは。

**回答** 23年度は630万円を計上して、民間調査会社にも調査を委託し、情報収集に努めた。地域活性化懇話会を設置して各方面から提言をいただき、また、ホームページに情報を記載し、情報発信に努めるなど、新しい施策に取り組んだ。新年度は今年度を上回る予算を確保して、既存企業の振興を図るとともに、オリンピック空き工場を含め、積極的な企業誘致を図っていく。

**質問** 定住化促進の政策は、空家バンク、Iターンアドバイザー、結婚相談など、どれも上手くいっていない。事業をどのように評価しているのか。

**回答** 昨年度実施した行政評価では、それぞれ「要見直し」「抜本的見直し」など厳しい評価をいただいた。空家対策事業には、登録件数が伸び悩んでいる。移住促進アドバイザーは、公募者がなく実際に稼働していない。結婚対策では、従来の手法だけでは大きな効果が期待できない。

**質問** 空家バンクについては、職員

**回答** 空家バンクについては、職員

が頭を下げて市内を歩き回り、登録数を増やすべき。何故やらないのか。

**答弁** 担当職員が出向いて自治会長と一緒に回ることを考えたい。

**質問** 定任促進対策本部の本部長は

誰か、組織は、専門職員の数は。 **答弁** これから検討する。

**質問** 学校給食の放射能対策の現状と課題

**質問** 購入した測定器をどの様に使っていくか。

**答弁** 使用方法や測定品目、範囲等について検討を進めている。「測定のマニユアル」の作成を進めている。

**質問** 国の暫定基準は高すぎる。特に感受性の高い子どもを守るために独自の基準を設定すべきでは。松本市、安曇野市は独自基準を設定している。

**答弁** 当市としても、独自に検討を進める必要性を



健やかな成長を祈る

**質問** 国の暫定基準は高すぎる。特に感受性の高い子どもを守るために独自の基準を設定すべきでは。松本市、安曇野市は独自基準を設定している。

**答弁** 当市としても、独自に検討を進める必要性を

**質問** 深層崩壊で大量の土砂が流入した場合、高瀬ダムは大丈夫か。ダムの安全性について第三者の専門家による検証が重要と考えるがどうか。流域の町村とダムの安全性を協議したか。

**答弁** 深層崩壊に対するダムの安全性など詳細な資料がないため、ダム管理者に確認したい。第三者の専門家による検証については、ダム管理者に安全性を確認し、内容を市民に知らせることが先ずは重要と考えている。流域

## TPPで市の経済や各分野への影響は

日本共産党代表 平林 英市

ることは難しい状況である。垂れ幕は、議会、農業委員会等、関係機関と相談して検討したい。

**質問** ダムの安全性について

**質問** TPPは日本の農林水産業を壊滅的に破壊し、食の安全・医療・金融・保険など、国の形を大きく変えてしまう。地域経済や医療・保険等への影響についての考えはどうか。また、松川村では行政、議会、農業委員会連名でTPP反対の垂れ幕を掲げているが、市庁舎に掲げる考えはないか。

**答弁** 農業への影響は決して少なくないと考えるが、現段階では国からの情報提供や説明がなく、影響を把握す

ることは難しい状況である。垂れ幕は、議会、農業委員会等、関係機関と相談して検討したい。

**質問** 深層崩壊で大量の土砂が流入した場合、高瀬ダムは大丈夫か。ダムの安全性について第三者の専門家による検証が重要と考えるがどうか。流域の町村とダムの安全性を協議したか。



松川村役場の垂幕

このほか▽ごみ焼却施設のこれまでの進め方や三日町住民への対応についての問題点▽登山道整備▽国民健康保険への一般会計からの繰入れ▽無料・低額診療事業などについて質問した。

感じている。しかしながら、納入業者や生産者に対してはその根拠を明らかにすることが求められる。また、購入食材ごとに測定する必要がある。現実的には非常に困難。

**質問** 購入した肥料が安全なのかなど、放射能汚染に不安をいだいている人が少なからずいる。市民の要望による出張測定、または肥料などを市役所まで持ってきたら測るなど、ルールを決めて市民の不安を取り除くようなサービスを実施すべきだが。

**答弁** 市民の方から要望があった場合には、測定器の空いている時間帯を利用して、測定したい物をお持ちいただき、大まかに調べることは可能。

町村との協議は現時点で実施していないが、情報を共有しながら慎重に今後の対応を検討したい。

**質問** 12月に震度3の地震があり、

震源地は高瀬ダム付近とされ、群発地震が発生している。震源地や原因を分析する必要があり、専門の地質学者に検証してもらったべきだ。

**答弁** 今後、専門機関に依頼し、調査を実施したい。

**質問** 学校給食のあり方は

**質問** ①なぜ経費の削減ばかり図り、正規の栄養士や調理員を削減するのか。②一部業務委託とはどのような形態か。なぜ委託するのか。③将来的に給食センター化を目指しているのか。④アレルギー児童・生徒についての対策は。

**答弁** ①行政改革や行政効率の向上に関する方針を踏まえ、調理員の正規採用は行わず、栄養士は今年度新たに正規職員を1名採用した。②委託については「学校給食のありかた検討委員会」での検討を慎重に見守っている状況である。③現在のところセンター化を行う予定はない。④個別に家庭から、アレルギー反応を起こす食品類や反応の強弱などの実態把握・対応した給食の提供等に努めている。

このほか▽ごみ焼却施設のこれまでの進め方や三日町住民への対応についての問題点▽登山道整備▽国民健康保険への一般会計からの繰入れ▽無料・低額診療事業などについて質問した。



市職員も公衆トイレの清掃に参加すべきだ

堀 堅一

質問 三つのダムの安全性について科学技術に絶対の安全はない。地震が続く中、市民の不安にあらゆる想定を示すべきであるがどう対応されるのか。

回答 あらゆる想定について検討していく。ダム管理者からの情報収集や市民への情報伝達、避難誘導など市として対応すべき対策については、地域防災計画に反映してまいりたい。

質問 この10年間で約半分になってしまった出生数ならば各小学校は5年後に計算上では1クラス25人となってしまふ。更に5年すると出生数が1年間で100人を切るかもしれない予想の中、いつの日か小中学校の統廃合をしなければならぬ事は明らかであると思う。今からでも市民の多くの皆さんのお考えをお聞きする組織の立ち上げを早急に議論すべきであると思うがいかがか。

回答 教育委員会としては、近い将来小学校6校、中学校4校の体制を含め、抜本的な検討を行う事が必要であると認識している。

質問 中学生の医療費の無料化を早く実行してもらいたいがいかがか。

回答 本年の11月に社会福祉審議会に諮問したところ中学3年生までの医療費無料の拡大については適当である旨の意見をもらっている。審議会の意

見を尊重して新年度予算編成の中で判断するよう考えている。

質問 公衆トイレの管理について多くの部署がバラバラに関わるため大変非効率である。管理を一元化する事で職員削減の中、効率的な管理をするべきだと思っていかがかか。

回答 職員の効率的な配置や管理経費の縮減につながる効果的な管理体制の見直しについて更に検討を進める。

質問 市職員も公衆トイレの清掃に参加すべきではないか。協働のまちづくりを言うだけでなく1年間に2回くらいは日曜日にトイレ掃除をして、さらに輝くトイレの大町市にすべきでは。

回答 奉仕活動の提案につきまして、職員互助会や職員労働組合とも協議しながら検討してまいりたい。



壊されたトイレの手すりを撤去



まちづくりは情報発信から

和田 俊彦

質問 市政における情報発信の基本理念は。

回答 市では、様々な情報を、ホームページ・広報紙・ケーブルテレビ等により発信している。中でもホームページによる情報発信は、市内外へ発信できるという点で効果的であり「だれでも、いつでも、どこからでも。また、より広く、より分かりやすく」をキーワードに情報の提供に努めてきた。今後も、画像や動画を活用した新たな情報提供手段を検討するとともに、携帯電話やスマートフォンなどの情報通信機器に対応した情報発信により地域の活性化を進めていく。

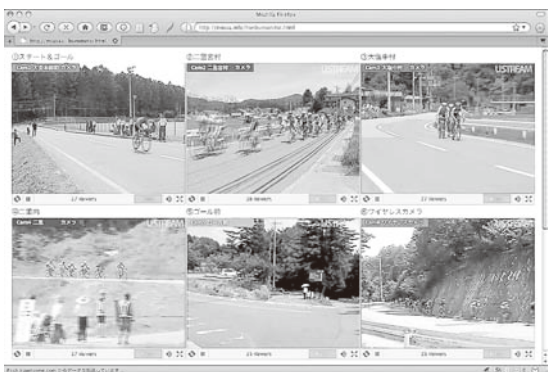
質問 今後、積極的に地域情報を発信していく考えはあるか。

回答 本市は、優れた景観をはじめ、歴史的遺産や伝統文化など、豊富な地域資源を有している。これらを情報資源として活用することが、地域づくり、人づくりに寄与するものと考えている。これからは、ケーブルテレビやインターネットによる配信を有効活用し、相互の連携、融合を進め、ライブカメラ等、見る人にわかりやすい映像による新鮮度の高い情報を発信し、観光産業等の活性化に資するよう検討していく。また、ソーシャルネットワークキングサービス等の技術を活用した、地域

ポータルサイトの構築を視野に入れ、積極的な地域情報発信に努めていく。

質問 発信内容の工夫によって人口増等、様々な効果を生むと思うが。

回答 第4次総合計画後期基本計画では定住促進のために、推進体制の強化や過疎計画に基づく移住促進事業、結婚支援事業等の実施を検討している。そのなかで情報発信の強化は、施策の総合的な展開にたいへん重要であり、観光キャンペーンと連携した空き家・移住情報の提供、ラジオ局などと連携した婚活イベントの開催など様々な媒体を活用し、効果的な情報発信に努めていく。特に、定住促進では、各部署に渡っている情報を一元的に発信していく仕組みを構築していきたい。



美麻ロードレース世界ライブ中継



### 実行性ある総合計画か

中牧 盛登

新年度予算編成について

**質問** 新年度優先的に推進する事業とは何か。

**答弁** 定住促進、働く場の確保と産業おこし、市民が安心して暮らせるまちの、3つを重点項目として優先的に進める。

後期基本計画の実行性について

**質問** 定住対策については「雇用創出」こそが、最大の定住対策と考えるが、市長は、定住対策の最大の課題を何と考えているのか。

**答弁** 働く場の確保が最も重要な課題だと考える。

**質問** 市民バスについて、現在のふれあい号方式やデマンドバス方式などどのようなシステムが大町市に適しているか比較検討し、後期計画の中により具体的な施策として反映できないか。

**答弁** 24年度末を目途に、地域公共交通総合連携計画を策定し、市民バスについて、できることから実行する。

**質問** 市長は、2期目の総仕上げとして、きらり輝くおおまちを目指すために「何を一番したいのか」。

**答弁** 後期計画重点プロジェクトに掲げた「定住促進」「働く場の確保と産業おこし」「市民が安心して暮らせるまち」の3つを市民との協働の力で進めること。

**質問** 大町の一番の地域資源は「人」ではないのか。人を育てるリーダーをつくるという考えに立ったとき、

後期計画の中に、人材確保と教育の充実を強く示すべきだと考えるが、市長の考えは。

**答弁** 人は、この地域を支えていくなによりも重要な要素と考える。その意味からも、教育環境の整備、子育て支援のより一層の充実を図りたい。

**質問** 「人」がこの地域を支えていくキーワードになるといふならば、後期計画の重点プロジェクトに「人づくり」を加える考えはないか。

**答弁** 「人づくり」「人」という視点について各施策に織り込むよう、市長から改めて指示をする。



大町の明日を担う子どもたち



### 民間の活力活かし 大町の活性化を!

太田 昭司

**質問** 民間の活力を活かしたPFIについてどのように考えるか。また、導入するとしたら、どのような事業に導入すべきと考えるか。

**答弁** 国や自治体等が、直接公共サービスを実施するよりも、効率的かつ効果的に行え、低コストかつ良質な公共サービスが提供でき、民間の事業機会の創出にも通じる。現在、八坂地区に建設予定の生ごみ堆肥化施設にPFIの導入を検討中である。

**質問** 現在、うつ病などの精神疾患により病気休職する教員が増えている。この問題は、教員個人の健康管理上の問題に留まらず、児童や生徒の学習や人格形成に多大な影響を及ぼす。東京都の取り組みを参考にし、教員の定期健康診断時のメンタルヘルスチェックシートの導入を検討してはどうか。

**答弁** 当市でも現在、小中学校で、精神的疾患により療養休暇や休職をしている教員がいる。定期健康診断時のメンタルヘルスチェックシートは、すでに東京都などでも導入され、早期発見や早期治療に効果を上げていると聞く。今後、教育委員会連絡協議会や教育長会議を通じ、プライバシー保護に配慮しながら導入の可否を検討するよう、県教委に働きかけていく。

**質問** 大町市の霊園内への、市の納

骨堂の設置を提言する。  
**答弁** 昨年度、市霊園の使用対象のアンケートを実施した結果、約1割の方が共同埋設型合葬

墓、又は立体型納骨堂を希望されていた。少子高齢化を見据え必要となる施設である。現在合葬墓整備の検討作業を進めている。

**質問** 子育て世代対象に、市が配布している「子育てふれあいカード」から、県発行の「ながの子育て家庭優待パスポート」への切り替えを提言する。

**答弁** 過日、市内商店街会長連絡会で、この件についてご意見を伺ったところ、商店や利用者にとってメリットがあるのなら、早めに移行した方が良い等の意見を頂いている。来年3月を目途に移行してまいりたい。



ながの子育て家庭優待パスポート





### 民意とかけ離れた ごみ政策の反省点は何か

大和 幸久

は断言できない。広域と大町市・白馬村・小谷村で検証する。

質問 10月1日三日町自治会の住民投票のあと、

**質問** 行政は、三日町自治会の住民投票の結果を受けて、ごみ焼却場の三日町建設を断念した。ところが断念の理由で「極めて高い透明性、公正性等を確保して取組んだが、正確な情報を伝えきれないまま反対が表明された」と述べた。しかし、実際は①「地元同意がない開発行為等はいっさい行わない」とする金森商事と三日町自治会が取り交わしている「誓約書」の存在を検討委員会に隠し続けてきた事。②白馬・飯森地区選定では、排ガスが拡散降下する一定区域内に水源地・学校・病院・公園がある地域は事前に候補地から除外していたが今回は何も行わず「排ガスから出ているのは水蒸気だけだ」などという非科学的で間違った説明をしてごまかしてきた事。など、この二つの事例を見ただけでも、

**回答**

(なし)

公正性・透明性を確保し正確な情報を伝えたなどは到底言えない。今の行政ではまともな検証ができないことは明らかであり、市民の信頼を取り戻すためにも、その検証を公正な第三者の専門家に委ねるべきだ。

**回答**

それぞれの方は公的な立場に立つ人と位置づけられるから問題ない。

**質問**

答弁のとおり問題ないとする前提で聞くが、市長は先の市議選で誰に投票したかお答えいただけますか。

**回答**

質問の趣旨がわからない。

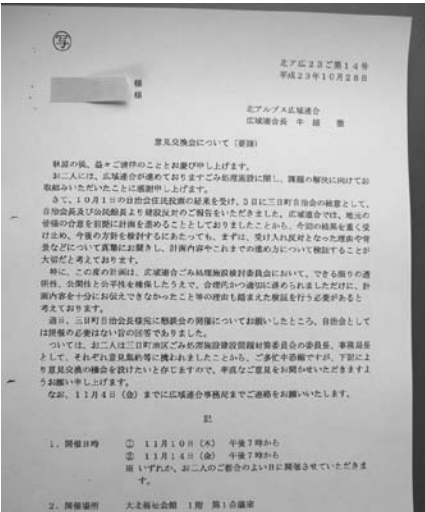
**質問**

答えなくて当然、あなたには「内心の自由」があるからだ。

**回答**

(なし)

問題とされる意見交換会要請書



問題とされる意見交換会要請書



### 市民や子どもたちを 被ばくから守る対策を

松島 吉子

に調べることは可能なので、市内での測定が一通り終了した時点で日時をお知らせし、測定することを検討している。

**質問** 学校では放射能について、食べ物、日常の行動、差別やいじめにつながるらないよう科学的な視点で正しい知識を教える必要がある。教育委員会の考えはどうか。

**質問**

市内には水道水源がいくつもあるが、水や土壌の放射線量を測定する考えはないか。

**回答** 児童・生徒に校長講話や学級活動、食育の時間など様々な機会を捉え、放射能と放射線について説明し、自ら学び判断する力を育成するよう求めてきた。文科省で現在、副読本を作成中で、来年3月までに市内の全小中学校に配布できる見込みだ。大部分の教職員も十分な知識が不足しているため、子どもたちと共に正しい学習をしていくよう指導していく。

**回答**

地表の測定値から土壌は現状では必要ないのではないかと考えている。水源も問題ないと考えている。

**質問** 産地の公表は調味料、加工品等、特定が困難なものを除き、各学校の調理場ごとに12月分から集計し、1月から市のホームページ上で公表する準備を進めている。食材の放射線量の測定は、機材が1台のみなので、栄養士を交え最も効果的に活用できるように、回数など検討し、マニュアルがまとまり次第、測定を開始したい。

**質問**

個人の家や庭などで測定の方法がある。応えられないか。

**回答** 現在考えていない。肥料など測りたい物をお持ちいただければ大まか

**回答**

安心・安全の給食を！



安心・安全の給食を！

# 委員会審査報告

## 総務文教委員会

議案第79号「第3次大町市国土利用計画の策定について」の審査では、委員から「目標年次の人口計画の努力目標を3万人としているがどのような政策的手段を考えているか」との質問があり、行政側から「直近の国勢調査人口は2万9,801人であり、人口減少率も顕著で、厳しい状況である。上位計画である市の総合計画後期基本計画において、5年後には3万人に回復することを目標として、重点プロジェクトに人口対策を位置付け取り組むとしている」との説明があり、慎重審査の結果、全会一致で可決しました。

議案第81号「大町市勤労青少年ホームの指定管理者の指定について」の審査では、委員から「国も指定管理者制度になじまない例もあるとし、慎重な対応を求めている。この施設は検討したか」との質問に、行政側は「国に用途変更を打診中で、その結果により管理形態を検討する」との説明があり、全会一致で可決しました。

議案第83号「大町市手数料条例の一部を改正する条例制定について」議案第84号「大町市就学指導委員会設置条例の一部を改正する条例制定について」議案第86号「平成23年度大町市一般会計補正予算(第7号)」のうち当委員会に付託された部分については、い

ず

れの議案も慎重審査の結果、全会一致で原案を可決しました。

陳情第45号「大町のこども命と心をはぐくむ給食を求める陳情」は、学校給食は自校直営方式を維持することや情報開示、十分な説明機会を求める陳情です。慎重審査の結果、賛成多数で継続審査に決しました。陳情第46号「過疎対策等に関する陳情について」は全会一致で採択。

継続審査中の陳情第22号「公契約条例制定についての陳情」は引き続き継続審査と決しました。

## 社会厚生委員会

議案第80号「大町市美麻総合福祉センターの指定管理者の指定について」

は、委員から「指定管理者の公募を行わなかった理由は何か」との質問があり、行政側から「地域において総合的な福祉サービスを実施し、今までの実績が評価されている大町市社会福祉協議会に委託することが適当であると判断したため」との答弁がありました。

議案第86号「平成23年度大町市一般会計補正予算(第7号)」のうち、生活環境課所管事項では、委員から「再商品合理化拠出金について」の質問があり、行政側から「市民からのプラスチックごみの分別において、不純物の混入率の低い自治体に対して、国の指定法人である財団法人日本容器包装リサイクル協会から支払われるもので、当市では不純物の混入物がほとんど無

く品質が高いため、配分額も高額になつている」との答弁がありました。

議案第91号「平成23年度大町市病院事業会計補正予算(第3号)」は当初予算と比べ増収となるための補正予算であります。委員から「医師住宅の現状と今後の整備については」との質問があり、行政側からは「以前は医師住宅を改築せず民間アパートを活用するとした。しかし、最近は家族状況により一戸建住宅を要望する傾向にあり、物件探しに苦慮しているため、一戸建の医師住宅建設を計画している。医師を確保する上で、住宅確保は重要な施策と考えている」との答弁がありました。

いずれの議案も慎重審査の結果、全会一致で可決しました。

大町南小学校PTA会長から提出された陳情第37号「通学路の安全確保に関する陳情」、全国障害者問題研究会長野支部大北地区代表から提出された請願第44号「障害者総合福祉法の制定を求める国への意見書提出についての請願」は、いずれも全会一致で採択すべきものと決定しました。

議案第82号「大町市大町温泉郷森林劇場の指定管理者の指定について」は、委員から「利用を増やすため対策が必要ではないか」との質問があり、行政側から「大町温泉郷観光協会では従来のイベント等での活用のほか、下草刈や山あじさいの植栽などの環境整備に取

り組み、宿泊客が外出し散策できる場所作りを行っている」との答弁がありました。慎重審査の結果、全会一致で原案を可決しました。

議案第86号「平成23年度大町市一般会計補正予算(第7号)」のうち、農林水産費の関係では、園芸振興事業に関して委員から「新製品のワインの内容について」質問があり、行政側から「今までのセイベルではなくメルロウとシャルドネの2種類のぶどうを使い製造し、来年3月頃の販売を目指している」との答弁がありました。土木費の関係では、住宅リフォーム促進事業に関して委員から「金額の算出根拠について」質問があり、行政側から「今年度の補助対象については3月末までに工事及び支払いまで完了したものが対象となる。今までは屋根、外壁の塗装の件数が多くあったが、冬期間はそれらがなくなり3百万円程度の申請と予想している」との答弁がありました。

議案第88号「平成23年度大町市公共下水道特別会計補正予算(第2号)」議案第89号「平成23年度大町市公営簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)」議案第90号「平成23年度大町市水道事業会計補正予算(第2号)」はいずれの議案も慎重審査の結果、全会一致で原案を可決しました。

陳情第37号、陳情第40号、陳情第41号、陳情第42号、陳情第43号、陳情第46号については、慎重審査の結果、願意は妥当と認め、全会一致で採択し、市長へ送付すべきものと決定いたしました。

議案第82号「大町市大町温泉郷森林劇場の指定管理者の指定について」は、委員から「利用を増やすため対策が必要ではないか」との質問があり、行政側から「大町温泉郷観光協会では従来のイベント等での活用のほか、下草刈や山あじさいの植栽などの環境整備に取

り組み、宿泊客が外出し散策できる場所作りを行っている」との答弁がありました。慎重審査の結果、全会一致で原案を可決しました。

議案第86号「平成23年度大町市一般会計補正予算(第7号)」のうち、農林水産費の関係では、園芸振興事業に関して委員から「新製品のワインの内容について」質問があり、行政側から「今までのセイベルではなくメルロウとシャルドネの2種類のぶどうを使い製造し、来年3月頃の販売を目指している」との答弁がありました。土木費の関係では、住宅リフォーム促進事業に関して委員から「金額の算出根拠について」質問があり、行政側から「今年度の補助対象については3月末までに工事及び支払いまで完了したものが対象となる。今までは屋根、外壁の塗装の件数が多くあったが、冬期間はそれらがなくなり3百万円程度の申請と予想している」との答弁がありました。

議案第88号「平成23年度大町市公共下水道特別会計補正予算(第2号)」議案第89号「平成23年度大町市公営簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)」議案第90号「平成23年度大町市水道事業会計補正予算(第2号)」はいずれの議案も慎重審査の結果、全会一致で原案を可決しました。

## 産業建設委員会

議案第82号「大町市大町温泉郷森林劇場の指定管理者の指定について」は、委員から「利用を増やすため対策が必要ではないか」との質問があり、行政側から「大町温泉郷観光協会では従来のイベント等での活用のほか、下草刈や山あじさいの植栽などの環境整備に取

## 12月定例会 提出案件の審議結果

議案番号	案 件	議決の結果
報告第16号	専決処分の報告について 【専第19号 大町市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例】	承認
報告第17号	専決処分の報告について 【専第21号 平成23年度大町市一般会計補正予算（第6号）】	承認
議案第78号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第79号	第3次大町市国土利用計画の策定について	可決（全会一致）
議案第80号	大町市美麻総合福祉センターの指定管理者の指定について	可決（全会一致）
議案第81号	大町市勤労青少年ホームの指定管理者の指定について	可決（全会一致）
議案第82号	大町市大町温泉郷森林劇場の指定管理者の指定について	可決（全会一致）
議案第83号	大町市手数料条例の一部を改正する条例制定について	可決（全会一致）
議案第84号	大町市就学指導委員会設置条例の一部を改正する条例制定について	可決（全会一致）
議案第85号	大町市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決（全会一致）
議案第86号	平成23年度大町市一般会計補正予算（第7号）	可決（全会一致）
議案第87号	平成23年度大町市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
議案第88号	平成23年度大町市公共下水道特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
議案第89号	平成23年度大町市公営簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	可決（全会一致）
議案第90号	平成23年度大町市水道事業会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
議案第91号	平成23年度大町市病院事業会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）

## 請願・陳情審査結果

採択	一部不採択	継続審査
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 陳情第37号 通学路の安全確保に関する陳情（大町市立大町南小学校PTA会長他1名）</li> <li>○ 陳情第40号 道路・水路等に関する陳情（二重自治会長）</li> <li>○ 陳情第41号 道路・水路の整備等について（新行自治会長）</li> <li>○ 陳情第42号 道路・水路の整備等について（青貝自治会長）</li> <li>○ 陳情第43号 道路・水路の整備等について（千見自治会長）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 請願第44号 障害者総合福祉法の制定を求める国への意見書提出についての請願（全国障害者問題研究会長野支部大北地区代表他2名）</li> <li>○ 陳情第46号 過疎対策等に関する陳情について（八坂地域づくり協議会会長）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 陳情第22号 公契約条例制定についての陳情（大北建設労働組合組合長）</li> <li>○ 陳情第45号 大町のこどもの命と心をはぐくむ給食を求める陳情（大町の給食を考える会代表）</li> </ul>

# 行政視察報告

## 総務文教委員会

総務文教委員会では、10月24日から26日まで北海道の3自治体を対象に行政視察を行いました。以下、その概要を報告します。

一、「ニセコ町」「まちづくり基本条例」は平成12年12月全国で初の、いわゆる「自治基本条例」として制定されたものです。これ以後、全国各地で制定された自治基本条例のさきがけとなった点で大変意義深い自治体です。

このまちづくり基本条例は、まちづくりの2大原則である「情報の共有」と「住民参加」を柱とし、これを町民の権利として保護しています。情報の共有のための文書管理システムの整備等が参考になりました。

二、室蘭市の市民参加による「まちピカパートナー事業」は「鉄冷え」などにより20万の人口が半減するなかで、行政だけでは不可能な「きれいなまちづくり」を住民参加で実施するもの



三、小樽市の豊かな歴史・文化等に磨きをかける「アーティストバンク構想」は、当市でも参考になる取り組みでした。

## 社会厚生委員会

デイサービスセンター夢のみずうみ村（山口県防府市）は利用者の9割近くが介護度維持、または改善しているという施設です。施設内は「村内通貨ユーメ」が流通し、パンづくり等様々なプログラムがユーメを使って利用できます。ユーメを使用しているカジノまで用意され利用者の熱気と歓喜があらわれていました。デイサービスとは職員

の目の届く範囲で、危険が無い決められたメニューを集団で行うところであると想像がしますが、バリアフリー（あえて障害物をつくる）等夢のみずうみ村はすべてが正反対でした。「人生の現役養成道場」という玄関にあった看板がとても印象的でした。

公立みつぎ総合病院（広島県尾道市）では院内に保健センター、行政の福祉保健部門、社会福祉協議会などが集められ、医療、保険、福祉が一体となつた地域ケア包括システムが行われているところと見えます。相談者がそこへ行く必要

なサービスが何かをその場で総合的に検討でき、適切なサービス提供が可能となりまし

た。山間地にあるこの病院は人の出入りが多く、まさにまちづくりの中心的存在でありました。



直島（香川県直島町）は隣の豊島（てしま）で不法投棄された産業廃棄物の中間処理施設を受け入れ、それを契機にエコアイランド直島プランを作成し、環境産業の創出と自然、文化の調和したまちづくりを進め成功しているところと見えます。ごみ処理施設を逆手に取り地域振興に成功した例は大町市も参考になると感じました。

## 産業建設委員会

10月12日から14日にかけて宮崎県綾町、大分県由布市、福岡県北九州市を視察いたしました。

一、綾町では、町の誘致活動により多くの工芸家たちが移り住み、国の工芸コミュニティモデル地区の指定を受け手作り工芸が盛んに行われるようになりまし

た。官民が一緒になつた長年の先進的な取り組みの成果であり大いに参考となりました。

二、由布市では、「住み良い町こそ優れた観光地である。」とのコンセプトにより行政が町づくりを進め、民間が「ゆふいん音楽祭」「由布院映画祭」などのイベントを行い発展してきました。ドイツの保養型温泉地を目指し、トレッキングコース等を整備し温泉療法を取り入れることで滞在型観光を目指しています。官民の分業による町づくりが印象的でした。

三、北九州市では、門司港レトロ口事業の取り組みにおいて、門司港レトロ俱樂部を民間・行政が一体となつて設立し、イベント開催・宣伝活動を行った結果、観光消費額が倍増し、観光客も345万人が訪れる観光地となりました。



本日は、市議会を傍聴させていただき、ありがとうございました。今回の市議会をはい見させていただいて、私が思ったことは、5年後、10年後の未来のことも考えて、その中で今、必要とすることを具体的に話し合っている所におどろきました。本日の話し合いを見て、自分たちにつなげてみると、クラスの話し合いで、本日の話し合いが手本になる所がたくさんありました。これからも、大町市のために、大町市の夢を実現するために、がんばってください。本日は誠にありがとうございました。

初めての議会で、話している事が難しくあまり分からなかったけれど、みなさん大町市を良くしていこうと、たくさん話題をもとにしんけんに話し合っているのがよく分かりました。

私は大町の人口を増やすためには、大町を東京都のようにもう少し建物を増やして都会みたいになれば人もたくさん来てくれて、住むようになり、人口が増えると私は考えます。これからも私達住民と議員さん達で協力してよりよい大町市をつくってほしいです。

## 議会傍聴

12月9日（一般質問3日目）に、大町西小学校6年生の児童が、社会科学「暮らしと政治」の学習の一環で、市議会を傍聴にきました。  
初めての議会体験に様々な感想をいただきましたので、一部をご紹介します。

難しい言葉が出てきたりして、あまり分かりませんでした。私も、平成25年に黒部ダムが50周年になることを通して、大町市がどういう所など多くの人に知ってほしいと思いました。

自分達が知らないところで大町のために考えている人達がこんなにいるのがすごいと思いました。一人一人が、堂々としていて、かっこよかったです。

私は大町市議会に行ったのははじめてなので、長い時間話し合いをしている事は行くまで知りませんでした。市議会議員の方が「大町市民が安心して安全に暮らせる事」を話している事がわかって少し安心しました。「町中をテーマパーク」みたいにするのは、楽しそうだと思います。本日は傍聴させていただきありがとうございました。



今日は、市議会の傍聴をさせてもらいありがとうございました。

市長さんがいっていた1つでも多くの夢の実現を目指したいということ、私は夢に少しでもちかづけるように、がんばりたいと思います。

それと、教育次長さんがいっていた、老人を大切にすることは、今、私のクラスでは北原老人クラブの方々との交流をしています。私は長野県におじいちゃんとおばあちゃんがないので、老人を大切にすることが、あまりわからなかったけれど、活動している中で、老人を大切にすることが、少しだけわかってきたような気がします。なので、地域の人に、朝などあいさつができるようにしたいです。

このたびは、議会で傍聴させて頂き本当にありがとうございました。むずかしい部分もありましたが、とても勉強になりました。良い町にしていくためには、夢を一つ一つかなえていくというのは、すごいと思います。今、大町に定住する人が少なくなっているようですが、私は将来定住するつもりです。私たちの将来を支えている人がいるというのはすごいと思うし、私もこれから、身近な所からでも、良い町にしていききたいと思います。本当にありがとうございました。

今日は大町市議会を傍聴させていただきありがとうございました。今日の傍聴で、大町市の観光面の課題や人材育成の事が分かりました。今、大町市は定住や雇用、交通の整備に課題があって、人材育成には特に力を入れている事が分かりました。

僕が大人になったら大町で働いて、大町で生きていきたいです。だから、市議会の方々、市民と行政が協力して、きらり光る大町になるようにがんばってください。

### あなたも市議会を傍聴してみませんか？

大町市議会傍聴規則に基づき、傍聴人受付簿に住所・氏名を記入していただくことで、本会議・全員協議会・各常任委員会等をどなたでも傍聴いただけます。

なお会議の様様を、写真撮影・録音ができないことや、いくつかのきまりがありますので、詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

大町市議会事務局  
電話0261-22-1139

# 開かれた議会を目指して

平成23年には、議会基本条例に基づく意見交換会は計10回開催されました。

## 市連合自治会との意見交換会

平成23年9月29日、市連合自治会からの申し入れによる意見交換会を市役所で開催しました。

連合自治会からの要望は、政治倫理に関する申し合わせの中で、「議員は自治会長に就けないとする規定を見直すべきではないか。」「議員も自治会長に就けるようにして欲しい。」「自治会においては、加入者の減少や高齢化など役員のなり手が減っているのが実態であり、議員は地域の実情を把握していることから、自治会長に適任であ

る。」とのご意見をいただきました。議会からは、「基本条例には検証及び見直しの規定があることから、今後、アンテナを高くして、ご意見をお聞きする機会を増やしていきます。」とお答えしました。その他、様々なご意見や提言を賜りました。

お忙しい中企画してくださいました市連合自治会の皆様に感謝申し上げます。

## 市民の皆さんと市議会の意見交換会

平成23年11月8日・10日の2日間、全議員が6名ずつ3班に分かれ、大町・平・常盤・社・八坂・美麻地区の計6地区で、意見交換会を実施しました。

9月定例会で平成22年度決算が認定されましたので決算の報告と、議会活動や市政に関する情報をお知らせするとともに、各地区の皆様のご要望やご意見を直接お聞かせいただき、市政に反映するための貴重な会となりました。初めての試みでありましたが、延べ98人の市民の皆様にご参加いただきました。

以下、会場の皆様からのご質問、ご意見、ご要望についてご報告いたします。

(以下、◇は質問、◆は議員答弁)

### 決算について

◇決算より予算について報告すべきでは。◆今回は決算についてご報告致しましたが、ご意見をいただいで来年度予算編成の参考にしたい。◇法人市民税の2・3%伸びの理由は何か。◆景

### 災害について

◇災害時に自治会だけで対応するのはなく、行政も協力体制を取ってほしい。防災訓練を実効性あるものにする

気の持ち直しがあり、製造業全体の収益が伸び、法人市民税が増収となった。  
◇税金や保険料の滞納状況はどうか。  
◆今年から、全県で滞納整理機構が滞納者から回収する仕組みが作られたため、かなり改善された。◇市の財政を良くするために、我々市民はどのような努力をすれば良いか。◆市民サービスを減らすと云う事ではなく、内部経費を減らすなどの工夫で無駄を省くことが大事である。(大町・平・常盤)





### ごみ処理施設について

この問題については多くの皆様からご意見をいただきました。  
◇広域ごみ処理施設問題について、広域議会は何をしているのか。今後どうするのか。市議会全員でごみ処理施設対策委員会の総意を集約したものを持って、広域議会へ臨んでしつかり

ため全市を対象に、実際の避難場所に避難する工夫をしてはどうか。(大町・平) ◆議会・行政・自治会が協力し合うのは当然だが、限界がある。大事なことは、自助・共助・公助であると考え。

### 各地区の状況について

やってもらいたい。◆地元の皆様には納得していただけなかった。今後も広域でごみ処理施設建設に向け、地域振興になるようなものを掲示して努力していきたい。

◇八坂地区に設置予定の、生ごみの堆肥化施設について、八坂地区住民の思いを議会にも汲んでいただきたい。(八坂) ◆生ごみは資源として活用でき、施設も増改築されるとの事であり、ごみ分別や急激な処理増大を招かないよう行政にもお願いしていきたい。◇美麻・八坂地区は合併当時より年々支所費用が激減し、合併メリットが感じられない。美麻地区の特色を無くさないための活動、特に学校が無くならないこと、移住対策、荒廃農地対策、市民農園の維持など地域振興を。(美麻)

◆お気持ちは十分分かりますので今後の議会活動に生かしていきたい。◇人口減少が学校・保育園等の課題となる。地域崩壊につながるのですその対策として、空き家対策や定住促進住宅など経費面の助成、合併特例債や過疎債を利用して事業をしてほしい。山村留学OBからも協力の申し出がある。八坂・美麻両地域は、学校・家庭・地域パランスがよくとれている。小規模校の特色を活かした教育が出来るので外からの人の流入も見込めるのではないか。(八坂) ◆市に特色ある教育環境を作ることは大切。学校の存続は大変憂慮

すべき時期に来ている。様々な角度から議論が必要であると考えている。◇仁科三湖の観光で、木崎湖のブラックバスがリリース禁止になり、釣客が減少した。木崎湖の魅力を失うことになる。(平) ◆大事な問題なので今後議論していきたい。◇市は有害鳥獣駆除に消極的である。国宝仁科神明宮はサルの糞が多い状況にある。社地区の塩の道はウォーキングコースとして大勢の観光客が来ている。観光客の安全と、コース沿道にトイレ・休憩所の整備を求める。(社) ◆鳥獣害については、様々な対策を講じているが根本的な解決策になっていない。また、ウォーキングに訪れる方が増えている状況なので、議会の立場でも議論していきたい。◇TPP、農業政策問題について市議会はどのように考えているか。(常盤)

◆陳情・請願を受け議論し、国へ参加反対の意見書を提出した。農業政策については、行政側と話し合って検討していきたい。

その他、「新エネルギー投資」「議員定数と報酬」「議員倫理」「人口増対策」「企業景気と企業誘致」「東洋紡跡地利用」「原発放射能測定」「公衆トイレ」「通学路」「道路拡幅」「子供が遊べる施設建設」「後期高齢者医療制度」「自治会運営」「議会だより」等、様々なご意見をいただきました。また、有意義な意見交換会であるので、継続して開催を望む声も沢山いただきました。



意見交換会でのご意見・ご要望は、市議会政策調整委員会で検討し、行政や関係部署につなげ、また、今後の議会活動に活かしてまいります。お忙しい中、大勢の皆さまにご参加いただき、ありがとうございます。

# 焦点

## 放射能汚染と向き合う

昨年3月11日に起こった福島第一原発事故による放射能汚染と私たちはどのように向き合っていくべきだろうか。

### 最悪の原発事故

福島第一原発は、放出された放射性物質が大量かつ広範囲にわたるとして、国際的な事故評価尺度（INES）で「深刻な事故」とされるレベル7に引き上げられました。原子力史上最悪の1986年の旧ソ連チェルノブイリ原発事故と同じレベルです。経済産業省原子力安全・保安院は6月6日放出された放射性物質の総量について、37万テラベクレル（ベクレルは放射線を出す能力の強さ、テラは1兆倍）から85万テラベクレルへと上方修正する解析結果をまとめました。これはチェルノブイリ原発事故（520万テラ）の16%ほどの値です。また、東京大学アイソトープ総合センターによると、福島原発から放出された「放射性物質総量」は熱量ベースで広島原爆の29・6個分、ウラン量で広島原爆の20個分、1年後の残存量で広島が1千分の1に対し福島原発では10分の1とのこと。

### 放射性物質の性質

福島第一原発事故により、10種類ほどの放射性物質が確認されている中で、主なものは放射性ヨウ素131、セシウム137、ストロンチウムが挙げられます。放射性ヨウ素は、ガス状で、呼吸などを通じて体内に入ると甲状腺に集まり、長期間にわたって蓄積された場合は、甲状腺がんなどを引き起こす可能性があります。ただし、放射性物質の量が半分になる半減期が約8日と短く尿で排出され易い

です。放射性セシウムは体内に取り込まれると染色体や遺伝子の突然変異を起こすことがあり、骨のガンや白血病の原因となります。半減期は29年です。放射性ヨウ素の半減期は8日と短いことから、私たちが現在主に気をつけなくてはならないのは、セシウムです。

### 健康被害は若者ほど深刻

放射性物質による健康被害は、若い人ほど影響が大きいと言われています。胎児や幼児など小さい子どもほど、活発な細胞分裂が行われているため、放射性物質により遺伝子が傷ついたまま細胞分裂を繰り返す、病気になる確率が高まります。妊婦や小さいお子さんは、体の中に放射性物質を入れない心構えで生活することが大切です。放射性物質を取り込む食品や肉・魚・牛乳・卵などは動物の体内で放射性物質が濃縮されることから食品の種類などに気をつけて購入する事が大切です。また、セシウム137は水



に溶けやすいため、よく洗う、水にさらす、ゆで汁を捨てるなどで食品内の量を減らすことができます。

50歳以上の方は、市場に出回っている食品であれば、あまり気を使わなくても健康被害がでにくいと言われています。年齢、ライフスタイルに合わせ、食品に注意を払って購入・調理をする必要があります。

### 大町市の対策

大町市では、空間線量を測る測定器を計3台購入しました。これにより、11月22日から12月2日の間に、保育園、小中学校、公園、スキー場、公共施設など市内56カ所測定を行いました。0・0750・16μシーベルト/hとの数値が計測されましたが、この地域は花崗岩による自然放射線量が多いため、値がほぼ同じであることから、事故の影響はほとんどないと思われます。

給食においては、地元産の食材を積極的に使用する。不足する際には県産、次は近隣県と地産地消をより一層進めています。また、空間線量を測る測定器で、食品を測定する準備を進め、現在「測定のマニュアル」を策定中です。

市民の中には、購入した肥料などに放射性物質が含まれていないかを心配する声があります。測定器の空き時間を使い、市役所にお持ちいただいた肥料等を測るサービスを始めました。

### 最後に

福島第一原発事故が起こってしまった今日、食品の放射能汚染と長期にわたって付き合っていくかざるを得ません。一人ひとりが放射性物質に対する理解や健康被害を避ける知識を身につけ、賢く向き合っていく知恵が求められます。

## 編集後記

平成24年の初春を迎え、市民の皆様におかれましては、穏やかなうちに新年を迎えられましたことに、議会だより編集委員会一同、心よりお慶び申し上げます。今年一年を皆様が無事故、無災害で、ご健勝でありますようご祈念申し上げます。

京都市・清水寺で行われた恒例の世相を一字で表す漢字が「絆」に決まり発表されました。日本漢字能力検定協会によると応募総数は過去最多の49万6997票（前年は28万5406票）で、一位の「絆」が6万1453票、二位の「災」が2万8648票でした。（ちなみに平成22年は「暑」が一位で1万4537票、昨年3月11日に起きた東日本大震災や、9月4日の台風12号による紀伊半島豪雨などの大規模災害で、家族や仲間との絆の大切さをあらためて知ったことや、7月18日サッカーの第6回ワールドカップ、ドイツ大会において優勝した、女子サッカー日本代表「なでしこジャパン」のチームワークなどが理由に挙がりました。森清範貫氏は「手を一つに携えて、震災から復興していこうと日本や世界の人々が思っている。心を込めて書かせていただいた。」と話していました。

市民の皆様との意見交換会を昨年に続き今年も開催する予定ですので、多くの皆様のご参加をお願い致します。

（小林）